

公立大学法人富山県立大学 入学式 理事長挨拶

平成28年4月6日（水）

アイザック小杉文化ホール ラポール

本日、平成28年度入学式が挙行される、この良き日にあたり、公立大学法人富山県立大学を代表いたしまして、お祝いの言葉を申し上げます。

ここに集う工学部258名、大学院工学研究科76名、計334名の皆さん、入学おめでとうございます。厳しい入学試験を突破され、希望に満ちた皆さんをお迎えし、大変うれしく、心から歓迎します。

そして、新入生の皆さんを応援してこられたご家族の皆様にも、お祝いを申し上げます。

また、本日は、石井富山県知事様、笹岡経営企画常任委員長様はじめ県議会議員の皆様、射水市長様、市議会議長様など、多くのご来賓の皆様に、ご臨席を賜り、ありがとうございます。

本学は、平成2年に日本海側初の工学系公立大学として開学し、そして、昨年4月に公立大学法人となりましたが、これを機に、高い就職率などのこれまでの実績をベースに3つの目標を掲げ、「学生を大きく伸ばす教育力の高い大学」、「未来を志向した高度な研究を推進する大学」、「広く開かれ地域に貢献する大学」を目指して、教職員一丸となって取り組んでおります。

法人化にあたっては、特に、県立の大学としての使命を改めて考え、産業社会から求められる人材の育成と若者の定着に一層貢献していくため、工学部の入学定員を来年度までに100名増員し、また工学部としては全国初の「医薬品工学科」を新設するなどの大規模な拡充計画を立てました。

さらに、質の高い看護人材の確保と女性の県内定着を図るため、「看護学部」の開設準備も進めることにしております。

これらの計画実現に向けて、石井知事様や県議会をはじめ、多くの皆様のご理解とご支援のもとに、現在、鋭意準備を進めております。

このように県立大学は、より魅力ある大学を目指しておりますが、新入生の皆さんには、ここで大いに学び、大学とともに、人として大きく成長発展を遂げていただきたいと思います。

本学は、モノづくりについて、学び、研究する大学ですが、ものづくり産業は、地方にあっても世界的な競争の中で、常に技術の進歩が求められています。どんな業種であれ、人々の生活をより便利に、心をより豊かにするニーズに応えられる企業が勝ち残り、事業を継続することがで

きるのです。そうした厳しい競争の中で、人々のニーズに応じていく中で、新しい技術、新しい文化が創られていくのです。

皆さんにも、本学で学び、そうした人々の生活を支え、新しい文化を創る担い手として、育てていただきたいと思います。

そのためには、今は予測もつかないことが起きる大変変化の激しい時代ですから、そうした時代を生き抜いていくためには、新しいことに消極的にならずに、失敗を恐れず積極的にチャレンジしていくことが大事です。

そして、自分自身の長所短所を知り、長所を伸ばし、短所を克服するよう、こつこつと努力し、自己研さんに努めていただきたいと思います。勉学にしても、仕事にしても同じです。皆さんには若さという大きな武器があり、人生に残された時間はたっぷりあります。将来の可能性は無限大です。大いに期待しています。

この富山県立大学のキャンパスで、勉学やスポーツ、友人や先生との交流など、青春を謳歌し、悔いのない素晴らしい大学生活を送っていただくことをお願いしまして、私の挨拶といたします。

1341 字

平成 28 年 4 月 6 日

公立大学法人富山県立大学 理事長 寺井幹男

皆さん おめでとうございます。